



侍浜地区敬老会が九月十三日(日)、ふれあい交流センター(侍浜体育館)で開催されました。

侍浜町内十地区のうち七地区の敬老者約九十名が出席し、盛会となりました。

当日は、恒例の侍浜保育園の園児によるダンスでスタート。元気よく、かわいいダンスと園児からの素敵なメッセーに敬老者から温かい拍手が送られました。



会福祉協議会会長から祝辞をいただきました。中平市長は、「侍浜地区敬老会は出席者が多く、盛大に開催され喜ばしい。出席者が多いことは、これまでみなさんの手で地域を支え、盛り上げてきたことの表れである」と述べた。



乾杯の発声は久慈市議会議員の畑中勇吉議員が行い、歓談がはじまりました。歓談中は、笑い声が絶えない、賑やかな雰囲気です。久しぶりの再会を楽しみ、昔話に花が咲いていました。

ステージ発表では、美しい踊りやフラダンスが披露され、会場が一体となつて手拍子を送りました。

カラオケでは、飛び込みでの参加者が続出。みなさんの見事な歌声に大いに盛り上がりました。

祝宴の最後は盆踊り。太鼓の音に合わせて踊りながら会場を回り、盛り上げました。はじめは列に参加するのをためらっている様子も見られましたが、誘い合いながら少しずつ盆踊りの列が伸びていきました。



り、大変誇らしい。」と敬老者への感謝と敬意を述べました。

〔裏面記事〕

- ・侍浜小学校 修学旅行・宿泊研修
- ・「認知症出前講座」開催
- ・拓陽支援学校だより
- ・侍浜駐在所だより
- ・秋こそクマにご注意ください
- ・侍浜町の人口と世帯数
- ・お知らせ



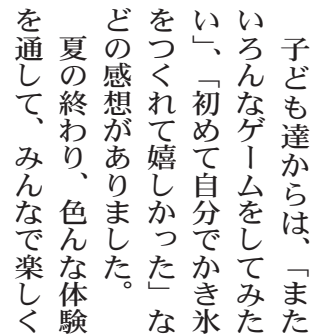
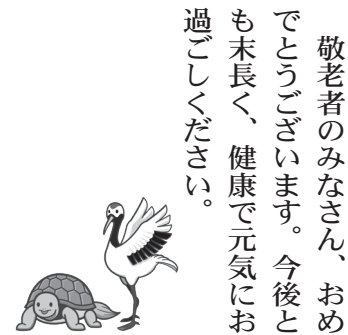
また、かき氷づくりも体験。それぞれが自分好みのかき氷を作り、味わいました。色々な味を試したいと味の違うシロップを混ぜ合わせた、何杯もお代りをする子もいました。

予定していた時間を目いっぱい使って終了した敬老会。賑やかなひと時はあっという間でしたが、皆さんで共にすることができ、素敵な時間となりました。

また、かき氷づくりも体験。それぞれが自分好みのかき氷を作り、味わいました。色々な味を試したいと味の違うシロップを混ぜ合わせた、何杯もお代りをする子もいました。

また、かき氷づくりも体験。それぞれが自分好みのかき氷を作り、味わいました。色々な味を試したいと味の違うシロップを混ぜ合わせた、何杯もお代りをする子もいました。

また、かき氷づくりも体験。それぞれが自分好みのかき氷を作り、味わいました。色々な味を試したいと味の違うシロップを混ぜ合わせた、何杯もお代りをする子もいました。



リユース品提供イベントを「侍浜秋まつり」と同時開催します

お家に眠っている不用品はありませんか？リユース品募集中！

侍浜市民センターでは、リユース品を随時募集しております。

「使わないけど捨てるにはもったいないもの」「買ったけど使ってないもの」…市民センターまでお持ち寄りください！

自分では必要なくても、必要な人に使ってもらえるため、良い循環が生まれます。いらないものが片付いてお家がスッキリ！

◆どんなもの？◆

- ・新品・未使用・状態がきれいなもの。

※汚れやシミのある衣類・賞味期限が切れた食品・割れた食器・壊れている物・大きい物・産業廃棄物などはお受けできませんのでご了承ください。

問合せ先：侍浜市民センター（電話：0194-58-2110）

出品・出店者を募集します！

- ・展示品（各種芸術・文化作品・活動報告等）10/26(月)まで
- ・出店・イベント（各種飲食品、農水産品販売・各種イベント等）10/19(月)まで

侍浜秋まつり

Autumn Festival

「皆さまのご参加、ご協力を
よろしく願いいたします。」

令和8年11月8日(日)
10:00～15:00
侍浜市民センター・ふれあい交流センター

〔お問合せ・お申込み〕侍浜秋まつり実行委員会(侍浜市民センター内)
TEL 58-2110・FAX 58-3644

侍浜小学校 修学旅行

九月十日(木)から十一日(金)にかけて、六年生十八名が仙台市へ修学旅行に行ってきました。

「協働・探究・規律」をめあてに、自主研修で仙台市科学館や震災復興記念館を訪れたり、全員で東北歴史博物館を見学したりして学びを深めました。

また、牛タンを味わったり、仙台うみの杜水族館やベニランドを訪れたり、仙台ならではの魅力も満喫しました。

震災遺構の荒浜小学校では、東日本大震災について見て、聞いて、多くのこ

を感じる貴重な機会となりました。

公共の場でのマナーや社会の一員としての行動についても学び、子どもたちは一回り大きく成長して帰ってきました。



侍浜小学校 宿泊研修

九月十七日(木)から十八日(金)にかけて、五年生が県北青少年の家で宿泊研修を行いました。

めあては「団結」「信頼」「感謝」です。

一日目はウォークラリーのほか、野外炊事ではおいしいカレー作りに挑戦しました。夜はキャンドルサービスを楽しみ、自分たちで設置したテントに宿泊しました。

二日目はテント撤収や焼き板制作に集中して手際よく取り組み、空いた時間には樹木園で思い切り遊びま



「認知症出前講座」開催

九月十七日(木)、侍浜市民センターを会場に「認知症出前講座」を開催し、三十四名が参加しました。

講師にNPO法人元気で支え合い」をテーマに講義いただきました。

講座では、加齢による物忘れと認知症による物忘れの違いや、認知症の主な症状について、具体例を交えた分かりやすい説明がありました。

認知症に気づくポイントとして、同じことを何度も聞く、よく知っている道で迷う、外出を控えるようになることなどが紹介されました。また、接し方では「急がせない」「後ろから声をかけない」「心を傷つけない」

い」という三つの「ない」が大切であると説明されました。

認知症の危険因子として、中年期の難聴や高コレステロール、高年期の社会的孤立などが挙げられ、健康で社会的な生活を続けることが予防につながるという説明がありました。

認知症になった方の体験談では、小さな失敗の積み重ねから傷つき、買い物や外出を控えるようになり、社会との接点が少なくなる過程が紹介されました。認知症になる前から、家族や周囲が支えることの大切さが伝えられました。

認知症介護者の心構えとして、抱え込まず、専門職や関係機関と連携しながら支えていくことも大切だと解説されました。

拓陽支援学校 だより

高等部・第二十三回 岩手県特別支援学校 スポーツ交流大会

九月十七日(木)、第二十三回岩手県特別支援学校スポーツ交流大会に参加しました。北上総合運動公園を会場に、生徒一人ひとりが、仲間とともに自己ベストを目指し、各競技に全力で取り組みました。



侍浜駐在所だより

キノコ採りの遭難 事故を防ぎましょう

一 キノコ採り中の遭難は、過去五年間で四十二件発生し、十一人が死亡

昨年、七人の方がキノコ採り中に遭難し、うち三人の方が亡くなっています。

遭難の主な原因は転落・滑落、道迷いのほか、熊による被害も発生しています。

二 装備や準備を万全に！

キノコ採りで山に出かけるときは、次のことを心掛けましょう。

・家族や知人に行き先、帰宅予定時刻を知らせ、夕方から明け方にかけての時間帯は入山を避けましょう。

・向かう地域に熊の出没情報がないか確認し、危険性がある場合は中止する。

・複数人で出掛け、山の中ではお互いの位置と周囲の安全を確認しながら行動する。

・体調が優れないときや天候が悪いときは無理をしない。

・救出に欠かせない携帯電話と予備バッテリーは必ず携帯する。万が一に備え、食料、雨具、懐中電灯、熊除け装備(熊鈴、ラジオ、スプレー等)を持参する。



秋こそクマにご注意ください

秋はクマが冬眠前に食べ物を探しに人里へ出没することが増える季節です。

岩手県内におけるクマの出没件数は、令和7年度は統計開始以来の過去最多を記録し、9,000件以上にのぼりました。また、10月の1ヶ月間で約3,000件の出没があり、月別の出没件数では10月が最も多い月となりました。

さらに、今年度は昨年度を上回るペースで出没件数が増加しており、4月から7月までの出没件数は約4,300件で、昨年の同じ時期と比べて約1.5倍となっています。

10月は山菜採りや屋外の活動が増える季節ですので、より一層クマに注意しましょう。

【クマに会わないために】

- 複数人で行動し、明け方や夕方は山へ入らない
- 音の鳴るグッズを常に鳴らして存在をアピール
- 食べ残し等、エサになるものを放置しない
- いざという時の撃退グッズを持つ



侍浜町の人口と世帯数

(令和8年8月末現在)

○人口	2,003人	(-40)
男	942人	(-24)
女	1,061人	(-16)
○世帯	992世帯	(-1)
	※	() 内は前年比

お知らせ

○十月(神無月)

- 一日 侍浜小学校社会科見学(五年)
- 一日 久慈拓陽支援学校後期始業式
- 二日 侍浜小学校総合見学(四年)
- 六日 侍浜小学校生活科見学(二年)
- 七日 侍浜小学校岩手県学習定着度調査(五年)
- 十二日 スポーツの日
- 十五日 侍浜小学校マラソン記録会
- 十六日 侍浜小学校漢字大会
- 十六日 侍浜市民センター開放の日
- 二二日 侍浜小・拓陽支援学校交流学習
- 三十日 職場説明会in久慈拓陽
- 三十一日 侍浜小学校創立百五十周年記念学習発表会